



ASAHI University News Letter

vol.140

July 2022

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部



朝日大学HP

2023年度 入学者選抜方法決まる

今日、わが国をとりまく社会情勢や環境は日々刻々と変化し、少子高齢社会の到来、新型コロナウイルス感染拡大、終息が見えない国際紛争など、依然として厳しい状況下にあります。

朝日大学では、これからも教育・研究・医療の質の向上を目指し、ステークホルダーである在学生や高校生、その保護者、また、地域社会の皆様から信頼いただける「大学づくり」に邁進してまいります。



歯学部5年生がStudent Dentistとして新たな気持ちを胸に登院式に臨む

2023年度入学試験日程が決まる

朝日大学では、入試制度改革・高大接続改革推進に伴い、学力の3要素などを総合的に評価するため、多彩な選抜方法による入試を実施しています。「選ばれる大学、魅力ある大学」づくりがより一層進むこととなります。

区分	名 称	期・日程	学部学科	試験日	募集人員				
					法	経	看	健	歯
総合型選抜	信 長	I	全	10月23日(日)	3	4	3	3	7
		II	看・歯	11月19日(土)	/	/	2	/	3
		III	法・経・健	11月20日(日)	2	3	/	2	/
	特別選抜	I	全	12月10日(土)	2	2	1	2	2
		II	全	1月27日(金)	若干	若干	若干	若干	若干
		III		2月25日(土)	若干	若干	若干	若干	若干
		IV		3月14日(火)	若干	若干	若干	若干	若干
学校推薦型選抜	指定校推薦		看・歯	11月19日(土)	22	30	26	15	31
			法・経・健	11月20日(日)					
	一般推薦	I	看・歯	11月19日(土)	15	19	43	/	/
		II	法・経・健	11月20日(日)					
		III	全	12月10日(土)					
	スポーツ推薦 吹奏楽推薦 高大接続推薦 (会計/マーケティング)	I	法・経・健	11月20日(日)	15	19	43	/	/
		II	高大接続推薦(経営のみ)	12月10日(土)					
		III		1月27日(金)					
		IV		2月25日(土)					
一般選抜	一 般	I A	全	1月25日(水)	15	18	30	30	55
		I B		1月26日(木)					
		I C		1月27日(金)					
		II		2月25日(土)		3	3	2	7
		III		3月14日(火)		2	3	2	5
	大学入学 共通テストプラス	I	全	I期A受験	3	4	2	2	2
		II		II期受験	2	2	2	2	2
		III		III期受験	2	2	1	2	2
	大学入学 共通テスト利用	I	全	1月25日(水)※	5	5	5	3	8
		II		2月25日(土)※	2	3	2	2	2
		III		3月14日(火)※	2	2	2	2	2

法…法学部法学科、経…経営学部経営学科、看…保健医療学部看護学科
健…保健医療学部健康スポーツ科学科、歯…歯学部歯学科
※歯学部のみ試験を実施し、他学部は個別試験を課さない。

2023 学士・社会人等特別選抜入試、欠員補充入試

上記の入試については、下記の問い合わせ先まで。

[お問い合わせ先] 入試広報課 TEL 058-329-1088
E-Mail nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp



学生生活をサポートする

「歯科医師」という夢をかなえるための教育システムと独自の奨学融資制度。

真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ「看護師」の養成を担う保健医療学部看護学科の奨学支援制度。

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科では、今日のきびしい経済情勢やコロナ禍においても充実した奨学支援制度を整備。

だれもが同じスタートラインに立てる

朝日大学は、全学部生を対象とした「診療費補助制度」、「学資借入支援奨学金制度」や「奨学融資制度」を、また各学部独自の奨学支援制度を整備して、修学環境や学生生活を万全な体制でサポートしています。

支援制度の詳細については、ホームページ、大学案内、入試ガイド、学生募集要項などでご確認ください。

歯学部

- 短期海外研修制度
- 卒業後生涯研修事業(CE)

保健医療学部看護学科

- 看護学科奨学金制度
- 看護師奨学金制度

- 短期海外研修制度
- 高等教育の修学支援制度

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科

- 学業奨励奨学金制度
- スポーツ奨励奨学金制度

- 会計奨励奨学金制度
- 吹奏楽奨励奨学金制度

- 高等教育の修学支援制度
- 北海道・沖縄特別奨学金制度

- 資格取得支援奨学金制度 ※
- 國際交流支援制度

※ 法学部・経営学部が対象

薩摩川内市と連携協定を締結

鹿児島県薩摩川内市との交流

本大学は、各種スポーツ施設や研修施設を数多く整備し、積極的に研修や合宿を誘致している鹿児島県薩摩川内市との包括的連携協定を4月19日に締結しました。

鹿児島県出身者が多数在籍する本大学体育会各クラブによる同市の施設活用をはじめ、同市出身者の看護師養成、薩摩川内市下甑村歯科診療所への運営支援等について、積極的な協力関係を築き上げていくことを目指して、包括的連携協定を締結することとなりました。

同市は、2004年10月に市町村合併で誕生。人口は約96,000人。薩摩半島の北西部に位置し、東シナ海に面した多種多様な自然環境を有する温暖な市です。



田中良二市長(右から3番目)と大友克之学長が協定を締結

故宮田慶三郎先生を偲び「慶夢忌」

朝日大学の創立者故宮田慶三郎先生を偲び、穂積キャンパス中庭にある故宮田慶三郎先生胸像前にて「慶夢忌」が5月19日に行われました。参列者の黙祷に続き、宮田淳理事長をはじめ教職員や学生の代表が献花をしました。

「慶夢忌」は、故宮田慶三郎先生のご功績ややさしいお人柄を偲ぶとともに、先生が残されたお言葉を心に刻み、「建学の精神」を再確認する機会として開催されました。



宮田理事長が挨拶



献花を行う代表学生



参列者全員で創立者胸像を囲む

海外の大学とオンラインで国際交流

さくらサイエンスプログラムの支援を受けて

本大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「さくらサイエンスプログラム」の支援を受け、南昌大学（中国江西省）と本大学歯学部が、ウェスタンケープ大学（南アフリカ共和国）と本大学歯学部・保健医療学部看護学科が、また、北京大学看護学院（中国）と本大学保健医療学部看護学科とが、それぞれ2月と3月にオンラインでの交流を行いました。

本大学は、「建学の精神」に基づきコロナ禍にあっても、積極的に国際交流を推進しています。



南昌大学の皆様



大友克之学長が挨拶



ウェスタンケープ大学との交流



北京大学看護学院との交流

海外の大学と交流協定締結

チェンマイ大学、国立勤益科技大学との交流

本大学保健医療学部看護学科とチェンマイ大学（タイ）とが、学生・教職員交流、教育・研究・学術分野の交流などを積極的に推進していくために、交流協定を4月7日に締結しました。

チェンマイ大学は、1964年に国立大学として設立。17学部24,000名の学生を有し、タイ北部随一の規模を誇る大学です。

また、本大学は、国立勤益科技大学（台湾）との学術交流に関する覚書を3月31日に再締結し、両大学の学生・教職員交流等の協力関係をより積極的に継続していくことを確認しました。

トンガ王国へ義援金を贈呈

「トンガプロジェクト」を立ち上げる

トンガ大洋州噴火による津波(1月15日発生)によってトンガ王国にもたらされた甚大な被害に対して、本大学は4月11日、トンガ王国大使館のテヴィタ・スカ・マンギシ特命全権大使、また、外務省を通じて同大使館との仲介の労をおとりいただいた日本・太平洋島嶼国友好議員連盟会長である衆議院議員の古屋圭司先生を東京事務所にお招きし、義援金(200万円)の贈呈式を行いました。

本大学は、トンガ王国から体育会ラグビー部に留学生を受入れており、彼らは遠く母国を離れ日本で活躍しています。このことから、被害直後から同国の復興支援の一助となるよう学内に「トンガプロジェクト」を立ち上げ、義援金を募りました。

本大学は、「建学の精神」に基づき、これからもあらゆる分野において国際化を進めてまいります。



左から古屋圭司先生、テヴィタ・スカ・マンギシ大使、宮田淳理事長、大友克之学長

愛知県民事調停協会連合会から表彰

本大学法学部の平田勇人教授(民事訴訟法)が2月に、多年にわたり一宮民事調停協会の運営発展に尽力された功績により、愛知県民事調停協会連合会から表彰を受けられました。

平田教授からの報告を受けた大友克之学長は、「まさに専門領域を活かした社会貢献です」と、このたびの受賞を讃えました。



平田教授(左)と大友学長

岐阜城北高校と高大連携

本大学と岐阜県立岐阜城北高等学校(正村達裕校長:岐阜市)とは、日商簿記検定試験など高度な会計に関する資格取得を目指し、地域社会の発展に寄与する生徒を支援することを目的として、3月8日に「簿記会計教育の連携に関する協定」を締結しました。同様な協定の締結は、岐阜県内で8校目となります。

今後は、体育会会計研究部の指導者等が会計を学ぶ意義などを生徒に指導したり、同高校から推薦された生徒に対して日商簿記検定1・2級の直前対策講座などを開講することで、地域社会に貢献できる生徒の育成に協力していきます。



正村校長(左)と大友克之学長が協定書を締結

叙勲 歯学部1期生が受章

本大学歯学部1期生で、小澤歯科医院院長(愛知県名古屋市)を務めておられる小澤亨司先生が、令和4年春の叙勲で「瑞宝双光章」を受章されました。

小澤先生は、長年にわたり「へき地保健衛生」に携わり、地域の保健衛生推進に尽力されたご功績(へき地保健衛生功劳)が認められての受章となりました。

先生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。 小澤先生(歯学部1期生)



大友学長が「県功労者表彰」を受ける

本大学の大友克之学長が、岐阜県から「功労者表彰(スポーツ・県テニス協会会長)」を受けられました。

この功労者表彰は、県の発展に寄与したり、県民の模範となる活動に尽力した団体や個人に授与される荣誉ある賞です。



新型コロナワクチン「大学拠点接種」

新型コロナワクチンの接種に関する地域医療機関の負担を軽減し、接種の加速化を図ることを目的として、本大学穂積キャンパス体育館で2月28日から3回目の「大学拠点接種」を行いました。

本大学学生・教職員・連携企業・協力企業・近隣自治体の幼保・小中学校・高等学校の教職員等の約2,900名を対象とした接種は、無事に終了しました。

国や岐阜県との調整を経て、今回の「大学拠点接種」も、岐阜県内の大学では最も早い接種となりました。



ワクチン接種会場

エコプロジェクト「Cool Biz」始まる

朝日大学では2009年度から大友克之学長のもと、「建学の精神」に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト(地球温暖化防止策)」を展開(「Cool Biz」「Warm Biz」「省エネルギー対策」)しています。

「朝日大学×SDGs in GIFU」宣言

2019年12月には「朝日大学×SDGs in GIFU」を宣言。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ:持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」に取り組み、教育・研究・医療活動・地域貢献を通じ、ここ岐阜瑞穂の地から「持続可能な世界の実現」に向けAction(行動)を開始しています。

「FD・SD研修会」を開催

2021年度第6回と7回のFD・SD研修会が、穂積キャンパスで2月17日と22日に対面とオンデマンド配信によるハイブリッド方式で開催され、教職員ら約320名が真剣なまなざしで研修会に取り組みました。

日本の医療・介護の今後の方向性

第6回の研修会では、兵庫県立大学社会科学研究科経営専門職専攻特任教授・名誉教授で朝日大学客員教授の小山秀夫先生を講師にお招きして、「日本の医療・介護の今後の方向性」をメインテーマに、貴重なご講話をいただきました。



小山先生が日本の医療を語る

情報漏洩と情報セキュリティ

第7回の研修会では、本大学情報教育研究センター長で経営学部教授の矢守恭子先生が講師を務め、社会的に問題となっている政府・企業等に対するサイバー攻撃犯罪を解説すると共に、「大学情報漏洩に関する報告と情報セキュリティについて」をメインテーマに研修が進められました。



情報セキュリティを解説する矢守先生

市民講座「エクステンション・カレッジ」

JR岐阜駅「ハートフルスクエアG」で受講も

本大学では、岐阜市、瑞穂市、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、瑞穂市教育委員会、各務原市教育委員会、大垣市教育委員会の後援を受け、「朝日大学エクステンション・カレッジ」を穂積キャンパス及びJR岐阜駅「ハートフルスクエアG」で開講しています。

“学び直し”の機会を提供

エクステンション・カレッジでは、様々な講座が開講されており、学び直しの絶好の機会となっています。是非、時間を見つけて受講してみてはいかがでしょうか。詳細は、電話でお問い合わせ、または、朝日大学ホームページでご確認ください。



様々な講座を開講

(エクステンション・カレッジ開講講座(一例))

ウェブサイトを作ろう、Enjoy TOEIC English!!、哲学の世界への誘い、能と狂言と楽しむ、ポジティブ心理学入門、ラテンアメリカ文化を知ろう、学び直し!! 世界の歴史、SDGsと法のかかわりを知ろう など

「医療経営士養成プログラム」を開講

地域社会連携講座

本大学では、(株)大垣共立銀行様からの連携協力を基に朝日大学病院(岐阜市橋本町)を会場とし、「医療経営士3級」合格を目指す「地域社会連携講座-医療経営士養成プログラム」を開講しました。

文部科学省及び厚生労働省から認定

本講座は、文部科学省「職業実践力育成プログラム」及び厚生労働省「教育訓練給付金(専門実践教育訓練)指定講座」に認定されています。2005年3月に締結した本大学と同行との産学連携協定に基づく事業の一環として、医療経営に関する知識、実践的な技能を体系的に学修できる社会人向けプログラムを通じ、医療現場を経営の分野から支える人材を育成し、地域貢献に資することを目的としています。

開講式では、同行常務取締役の土屋論氏並びに本大学の宮田淳理事長から、「コロナ禍ではありますが、日進月歩の医療分野で働く者として常に視野を広げて考える医療経営士を目指していただきたい」との挨拶がありました。



土屋常務取締役からの挨拶



大友克之学長から受講者へ教材が授与される

生涯研修を積極的に支援

朝日大学・明海大学歯学部生涯研修(CE)が開講

本大学歯学部及び明海大学歯学部が共同実施している歯科医師を対象とした生涯研修事業(CE)が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により「Web配信」を中心に4月から開講されています。

堀田正人歯学部生涯研修センター長は、すべて「Web配信」の「クリニカル・スキルアップコース:28コース」、「Web配信」と「対面」で実施の「クリニカル・ステップアップコース:6コース」への、積極的な受講を呼びかけています。

これまでの受講者は、日本全国各地で地域医療の中心的な役割を担う歯科医師として活躍しており、また、近年は大学院歯学研究科の学生や海外からの受講生を迎えるなど、CEは教育的かつ国際的な医療貢献活動へと発展しています。



知立研修センター(愛知県知立市)での研修

White Coat Ceremony 2022

歯学部登院式を実施

歯学部5年生の登院式（白衣授与式）が、4月9日、穂積キャンパス6号館大講義室で厳粛に行われました。この登院式は、5年生が参加型臨床実習を始めるにあたり、その第一歩を踏み出す節目として毎年この時期に実施されています。

式典では、大友克之学長から「登院の許可」、田村康夫歯学部長からの激励に引き続き、白衣と2020年度から新たに実施されている「Student Dentist認定証」が、大友学長、田村歯学部長、藤原周医科歯科医療センター長、玉置幸道教務学生委員長らから授与され、学生たちは歯科医師を志す気持ちを新たにしていました。



大友学長による登院許可と告辞



田村歯学部長の激励挨拶

医療人としての決意表明

その後、学生代表の稻川竣太さんから「社会的責任と医療人としての自覚を持ち、真摯に実習に取り組みます」との決意があり、参加型臨床実習への第一歩を踏み出す素晴らしい門出となりました。



稻川竣太さんの決意表明

看護学科成績優秀者を表彰

医療人としての自覚と志

「保健医療学部看護学科2021年度成績優秀者表彰式」が4月15日に行われ、各年次成績上位者の学生が表彰されました。

この表彰は、学生の学修意欲の持続及び向上を図ることを目的に開催されています。

表彰式には、成績優秀者及びアドバイザー教員が出席。須賀京子看護学科長から表彰状と副賞が授与されました。



成績優秀学生を表彰

新入生学外研修、フィールドワーク

本年はキャンパス内で

歯学部新入生学外研修が、4月6日と7日に穂積キャンパスで実施されました。

1学年指導教授の川木晴美先生から歯科医師を志す心構えの講話を聴き、その後グループ討議を体験した新入生は、歯学部学生としての強い自覚を新たに大学生活の第一歩を踏み出しました。

看護学科では、「建学の精神と社会生活～学内探検～」が4月12日に穂積キャンパスで実施されました。

新入生は、8カ所のチェックポイントで出題されるミッションを仲間とクリアし、大学の施設等をめぐりました。



創立者胸像前で(看護学科)

河口堰とダムで岐阜を知る

法学部、経営学部、健康スポーツ科学科の新入生は「建学の精神と社会生活」のフィールドワークで、4月20日に長良川河口堰と徳山ダムを訪れました。

4年間の学びの地「岐阜の歴史と地域、文化」を指導教員や仲間たちと散策しつつ学びを深めました。

皮膚疾患の広い分野の診察

2021年4月に新設された朝日大学病院（岐阜市橋本町）皮膚科を紹介します。

当院の皮膚科では、皮膚に関するすべての病気を診断し、治療します。帯状疱疹のような感染症から、アトピー性皮膚炎のような炎症性疾患、皮膚がんまで広い分野にわたる診断と治療を行っています。

診療部長は、岐阜大学医学部で皮膚病態学分野の教授を務められた清島真理子先生です。

患者様に寄り添った治療を心掛ける

皮膚科の診療日と時間は、月曜・水曜・金曜の午前、月曜・火曜の午後です。皮膚科専門医による診察を行い、また、紫外線治療、手術やアレルギー検査も行っています。

内服や外用薬を処方するだけでなく、患者さんやご家族と一緒に外用療法を実践しながら指導を行います。患者さんやご家族と相談しながら、一人ひとりに合った適切な治療を心がけています。



皮膚科外来のスタッフ

強化指定チーム決定!!

本大学体育会の7競技団体が「2022年度強化指定クラブ」として(公財)岐阜県スポーツ協会から認定されました。

2005年度から始まった強化指定制度は、県スポーツ協会が行う「国体特別支援事業」の一環で、国民体育大会に向けた選手強化を目指すと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを輩出するため、指定選手やクラブチームが競技に専念できる環境整備などを行うことを目的としています。

競技力の向上

本大学体育会から選ばれた各クラブは「競技力向上強化指定証」の交付を受けました。

朝日大学強化指定クラブ名	対象
相撲部、卓球部、フェンシング部	男子・女子
自転車競技部、ホッケー部、ラグビーフットボール部、ハンドボール部	男子

吹奏楽部「春のコンサート」

聴衆を魅了する演奏

体育会吹奏楽部が、5月8日に瑞穂市総合センター・サンシャインホールで「第1回春のコンサート」を開催。会場に集った約650名の聴衆は、吹奏楽部が奏でる演奏に終始魅了されました。

2019年春に創部された吹奏楽部は、現在30名の部員が和田隆明監督(教職課程センター講師)の指導の下、“朝日大学しか演奏できない曲づくり”を目指して、全日本吹奏楽コンクールや全日本アンサンブルコンテストでの上位進出を見据え、日々練習に励んでいます。



聴衆を魅了する演奏

ゴルフ ALL JAPANで堂々の準優勝

本年度4月に創部された体育会ゴルフ部の中道ゆい選手(健康スポーツ科学科1年)が、伊都ゴルフ倶楽部(福岡県糸島市)で4月20・21日に開催された「第22回ALL JAPAN 女子学生アマチュアゴルフトーナメント2022 KOEI CUP」に出場。優勝は逃すも、準優勝に輝きました。

これにより「第71回USハワイJennie K. Wilson Women's Invitational 2022」への出場権を獲得、5月20・22日にアメリカハワイ州のミッドパシフィックカントリークラブで開催された同大会で、堂々の準優勝の成績を収めました。



中道選手

ラグビー 東海セブンズを制す!

東海リーグ連覇に向け好発進

体育会ラグビー部は、4月3日愛知学院大学ラグビー場で開催された「東海学生セブンズ2022」に出場し、予選リーグから決勝トーナメントまで中部大学、愛知教育大学、名古屋学院大学、金沢学院大学に対してすべて勝利を収め、みごと優勝に輝きました。

今後の東海リーグ、全日本選手権での活躍に期待が膨らみます。



名古屋学院大学との対戦(準決勝)



みごと優勝に輝いたセブンズのメンバー

フェンシング 関西学生リーグで活躍!!

朝日のごとく輝け

体育会フェンシング部は「第71回関西学生リーグ戦」(4月23日~5月14日:京都府大山崎町総合体育館ほか)に参戦。

男子が「サーブル」優勝、「フルーレ」3位の成績を、また、女子は「サーブル」優勝、「フルーレ」準優勝の素晴らしい成績を収めました。

パリ五輪を目指す現役選手を擁する体育会フェンシング部への更なるご声援をお願いします。



優勝に輝いたフェンシング部

NEWS

2021年度 事業報告及び決算

2021年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が、2022年5月19日開催の理事会並びに評議員会において全会一致で承認されました。
2021年度事業報告及び決算は以下のとおりです。

事業報告

1 優秀な学生の受け入れ(2022年度入学生に係る募集結果)

全国の私立大学の46%が入学定員を充足できていない状況の中、受験生や保護者に、本大学の教育・研究活動の質の保証と向上への取り組みや魅力を効果的な広報活動を通じてアピールし、朝日大学ブランドの向上を図りました。その結果、全体で575名の優秀な入学生を受け入れることができました。

2 教育・研究活動の質の保証と向上

効果的な教育・指導を行っていくためICT(情報通信技術)の積極的な活用や、教育課程の体系化の推進、学修成果の把握、教員及び職員の資質向上のためのFD・SD活動の強化に努めました。

法学部・経営学部では、公務員試験に61名が合格、また、公認会計士試験(論文式試験)に3名(8年間で計50名)が合格しました。歯学部では、総合的な歯科医師としての資質の向上とともに、歯科医師国家試験対策に力を注ぎ、歯科医師国家試験で新卒者80名が合格。新卒者合格率は80.0%という結果で、私立歯科大学17校中7位の成績でした。保健医療学部看護学科では、看護師国家試験に99名が受験し97名が合格、保健師国家試験には10名が受験し全員が合格しました。歯科衛生士専門学校では歯科衛生士国家試験を受験した80名全員が合格し、継続して合格率100%を達成しています。

3 地域社会、ステークホルダー等への貢献

近隣地域におけるエクステンションカレッジの開催や、市民相談室などを通じて、地域住民の皆様へ本大学が有する「知」の提供を行いました。

また、地元の企業等と連携し、実務家教員による授業、インターンシップ、共同研究や受託研究等を推進しました。さらに、高等学校への出張講座や英語弁論大会の開催、岐阜県弁護士会との協力の下、法教育シンポジウムやジュニアロースクールを開催するなど、地域社会と緊密な連携を図りました。

4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

本大学では、広い視野を持つ国際人育成を目的として、毎年各学部で学生の海外研修を実施してきましたが、2021年度は、新型コロナウィルス感染症の拡大によりすべて中止しました。しかし、オンラインでの交流を積極的に実施するなど、協定校との関係をより強固なものとしました。

また、学術研究の促進、資質向上を目的として、歯学部の教員1名をハーバード大学に派遣しました。研究成果を教育や臨床に還元してまいります。

5 学生支援対策

学業奨励奨学金、スポーツ奨励奨学金及びコロナ対策緊急支援奨学金による経済的支援、スクールバスの運行や大学病院はじめ3医療機関における診療費補助による生活支援などを継続してまいりました。また、「学生相談室」に専門員を置き、学生の「心」のケアにも努めてまいりました。

就職支援では、AGOでの学生に対する就職指導等を継続して実施してきた結果、2021年度の文系学部学生の就職率は99.3%と高い数字を維持することができました。

6 社会人の学び直し支援

歯科医師の生涯研修として、歯科医学界を牽引するUCLA歯学部とのジョイントコースの開催や体系化された歯科総合医育成コースの充実を図り、実践的なりカレント教育を20年にわたり展開してきました。

また、地域住民の生涯を通じた学びや学び直しを支援するため、グローバルな職業人を養成するための「実践ビジネス英会話プログラム」や、医療機関等のスタッフを対象とした「医療経営士養成プログラム」などを展開しました。

7 施設・設備の充実

学生の修学環境の充実のため、施設・設備の改修や機器の導入を積極的に行いました。歯学部6年生専用の学修スペース設置工事や会計研究室の改修工事、6号館2階・8階講義室のLED照明化工事、冷暖房機器の更新やトイレの改修工事等について、計画どおり実施しました。

8 法人運営の基盤強化

事業計画に基づき学生募集に全力を挙げるとともに、安定的な医療収入の確保や経費の節減、科学研究費助成事業、受託研究費、研究費助成金等の外部資金獲得に努めました。また、計画的なFD・SD研修会を行い、教職員の能力向上に努めました。

第51期決算報告書(2021年度) 2021年4月1日から2022年3月31日まで

資金収支計算書

単位:円

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	4,644,939,760	人件費支出	9,041,981,130
手数料収入	42,499,732	教育研究経費支出	6,547,909,979
寄付金収入	9,100,000	教育研究経費支出	2,617,868,607
補助金収入	1,929,763,486	医療経費支出	3,930,041,372
資産売却収入	39,594,850,429	管理経費支出	584,310,620
付随事業・収益事業収入	128,655,090	施設関係支出	457,739,666
医療収入	9,377,166,488	設備関係支出	475,503,970
受取利息・配当金収入	5,229,873,381	資産運用支出	43,841,213,241
雑収入	215,191,177	その他の支出	21,049,028,402
前受金収入	531,035,162	資金支出調整勘定	△ 1,337,753,953
その他の収入	24,357,129,907	翌年度繰越支払資金	10,640,824,940
資金収入調整勘定	△ 2,029,011,341		
前年度繰越支払資金	7,269,564,724		
収入の部合計	91,300,757,995	支出の部合計	91,300,757,995

事業活動収支計算書

単位:円

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	4,644,939,760	人件費	9,086,710,425
手数料	42,499,732	教育研究経費	7,582,963,203
寄付金	17,079,620	(内 医療経費)	4,028,135,925
経常費等補助金	1,801,554,486	管理経費	591,873,934
付随事業収入	67,411,521	徴収不能額等	15,277,939
医療収入	9,377,166,488		
雑収入	215,191,177		
教育活動収入計	16,165,842,784	教育活動支出計	17,276,825,501
		教育活動収支差額	△ 1,110,982,717
事業活動外収支		事業活動外支出の部	
受取利息・配当金	5,229,873,381		
その他の教育活動外収入	61,243,569		
教育活動外収入計	5,291,116,950	教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	5,291,116,950
経常収支差額			4,180,134,233
特別収支		事業活動支出の部	
資産売却差額	2,289,193,036	資産処分差額	3,309,251,444
その他の特別収入	139,635,552		
特別収入計	2,428,828,588	特別支出計	3,309,251,444
		特別収支差額	△ 880,422,856
基金組入前年度収支差額			3,299,711,377
基金組入額合計			△ 3,164,367,852
当年度収支差額			135,343,525
前年度繰越収支差額			△ 8,210,842,823
翌年度繰越収支差額			△ 8,075,499,298

貸借対照表

2022年3月31日 単位:円

資産の部		負債の部	
固定資産	169,261,661,366	固定負債	4,251,527,791
有形固定資産	26,596,905,759	流動負債	1,984,345,749
土地	11,495,023,466	負債の部合計	6,235,873,540
建物	9,680,720,220		
教育研究用機器備品	1,499,284,638	純資産の部	
その他有形固定資産	3,921,877,435	基本金	183,492,594,400
特定資産	137,459,027,791	第1号基本金	49,005,094,400
第2号基本金引当特定資産	15,000,000,000	第2号基本金	15,000,000,000
第3号基本金引当特定資産	118,207,500,000	第3号基本金	118,207,500,000
退職給与引当特定資産	4,251,527,791	第4号基本金	1,280,000,000
その他の固定資産	5,205,727,816	繰越収支差額	△ 8,075,499,298
流动資産	12,391,307,276	翌年度繰越収支差額	△ 8,075,499,298
資産の部合計	181,652,968,642	純資産の部合計	175,417,095,102
		負債及び純資産の部合計	181,652,968,642

*詳細は、本学HP (<https://www.asahi-u.ac.jp/inf/disc/f-jigyou>) をご覧ください。